



## 金融商品は名前がすべてか

似たものが、呼び方によって全く違って見えることがある。金融商品でも同様、古くはジャンク・ボンドとハイ・イールド・ボンド。また、新しいところでは、アクティブ・ファンドとエンハンスト・インデックス・ファンドがその一例だろう。

金融工学を生業にしていると忘れがちだが、ビジネスには、科学とコミュニケーションの両面があるから、商品を提供する側は、上手な名付けが大切だ。金融商品は抽象度が高く、はっきりとした実像を結び難い分、名が体を表してしまう可能性が強いだけに、名付けは一層重要になるのである。

裏返して考えると、商品の提供を受ける側では、言霊(ことだま)のベールを透かして、実態を見通す目(目利き)が必要だ。自分には見えているとの思い込み(半可通)ほど、危ういものはない。夏休みには、しっかりと眼力を養い、混迷、波乱する投資環境に対処したいものである。

### 《目次》

- ・年金運用：年金運用における為替ヘッジ政策（４）
- ・年金運用：年金基金のガバナンス
- ・年金運用：万人のための年金運用入門（１６）  
—政策アセット・ミックスの見直し